

平成26年12月 5日

各 位

会 社 名 株式会社マネーパートナーズグループ
 代表者名 代表取締役社長 奥山 泰全
 (コード番号：8732 東証第一部)
 問合せ先 取締役 C F O 中西 典彦
 (TEL. 03-4540-3804)

平成26年11月次 月次概況（速報）のお知らせ

平成26年11月次の当社グループの月次概況（連結ベース）を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

記

年 月	平成 25 年											
	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
営業収益 (単位：百万円)	639	531	333	565	514	490	417	385	376	361	372	408
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	225,359	231,130	146,144	193,096	185,542	216,211	155,483	117,466	97,846	99,448	90,408	102,966
顧客口座数 (単位：口座)	210,010	212,103	213,850	216,178	218,537	220,361	222,432	224,281	225,986	227,731	229,204	230,717
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	42,139	40,774	39,321	41,940	42,801	42,327	42,886	43,202	43,229	43,755	44,179	43,797

年 月	平成 26 年											
	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
営業収益 (単位：百万円)	513	435	416	345	320	303	346	313	507	581	512	
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	141,934	116,780	99,614	80,006	66,673	53,476	52,025	61,788	121,116	146,935	172,500	
顧客口座数 (単位：口座)	232,518	234,192	235,807	237,340	238,815	240,435	242,160	243,854	245,880	247,587	249,193	
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	44,144	44,250	44,348	44,177	44,098	44,561	45,128	45,214	45,649	46,290	46,008	

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っておりません。
2. 顧客口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。
3. 平成20年5月より代用有価証券の取扱いサービスを開始し、外国為替証拠金取引に使用できる代用有価証券の預り残高が発生しておりますが、現時点では外国為替取引預り証拠金の残高と比べ重要性が小さいため記載を省略しております。
4. 平成20年6月から平成25年2月まで外国為替証拠金取引システムのホワイトラベル提供に伴う実績数値が発生しており、当該数値を以下のとおり取り扱っております。
- (1) 営業収益 : ホワイトラベル提供に伴うトレーディング収益を含めて表示しております。なお、当該収益の会計処理は、当社グループ会社をカウンターパーティとする外国為替取引に係るトレーディング収益を営業収益として全額計上した上で、当社グループ会社からホワイトラベル提供先に対して支払うべき外国為替取引に係る手数料を販売費・一般管理費に計上する方法によっております。なお、ホワイトラベル提供に伴うトレーディング収益と当社グループ顧客との外国為替証拠金取引に伴うトレーディング収益を区分することができないためこれらを区分しておりません。
- (2) 外国為替取引高 : ホワイトラベル提供に伴い発生する当社グループ会社をカバー取引先とする外国為替取引を含めて表示しております。なお、当該取引高は提供先の重要情報に該当するため区分して表示していません。
- (3) 顧客口座数 : ホワイトラベル提供に伴う口座数は含まれておりません。
- (4) 外国為替取引預り証拠金 : ホワイトラベル提供に伴い発生する当社グループ会社がカバー取引先として受け入れる預り証拠金を含めて表示しております。なお、当該金額は提供先の重要情報に該当するため区分して表示していません。

5. 平成21年7月から平成26年10月まで株式会社大阪取引所の開設する取引所外国為替証拠金取引（愛称「大証FX」）のマーケットメイカーとしての業務を行っており、大証FXにおける取引高及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。
6. 平成23年8月より差金決済取引（CFD）の取扱いを開始しており、CFDにおける預り証拠金、取引高（原取引単位を米ドルに換算）及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。

<11月次の概況>

11月の外国為替市場は、米ドル/円については、1ドル=112円台後半で取引が始まり、前月末の日銀による追加金融緩和からの流れを受け円安が継続する展開となりました。11月11日には本邦消費増税を先送りし解散総選挙に踏み切るとの思惑等を背景に一時116円台前半まで値を上げ、さらに11月19日にFOMC議事要旨において米国経済回復への自信が表明されると約7年3か月振りとなる118円台の高値をつけるなど、月を通じて急ピッチな円安ドル高基調で推移し118円台後半で月末を迎えました。米ドル/円の変動率は、月を通じて円安ドル高基調で相場が推移したことから月間の値幅は6円台前半と大きく動いたものの、日次の値動きは前月を下回る水準となりました。また、米ドル/円以外の主要な取扱い通貨である欧州・オセアニア通貨についても、ユーロ/円の変動率は前月と比べ更に高い水準となったものの、その他のクロス円通貨ペアは概ね米ドル/円と同様に前月から低下し、米ドル/円を含めた全体としての変動率は高い水準を維持したものの前月の水準を下回りました。

このような状況の中、外国為替取引高は、米ドル/円が高値を更新したことによるポジションの再構築の動き等もあり、前月比約17%増加の1,725億通貨単位となりました。一方、営業収益は、相対的に取引高当たり収益性の低い米ドル/円の取引高が大幅に増加したことや高い変動率を背景とするインターバンクでのスプレッド拡大によりカバー効率が低下したこと等により全体の取引高当たり収益性が低下したことから前月と比べ約12%減少したものの512百万円と外国為替相場変動の追い風を十分に享受した水準を確保できました。また、顧客基盤については、顧客口座数は前月比1,606口座増加の249,193口座と堅調に推移した一方、外国為替取引預り証拠金は顧客含み損益の大幅改善を背景とする出金等の動きもあり前月比281百万円減少の46,008百万円となりました。

以 上